

社協 なると

社会福祉協議会広報誌 第10号

発行/社会福祉法人 鳴門市社会福祉協議会
 〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜30番地の9
 老人福祉センター2F
 TEL:088-685-7170 FAX:088-686-4059



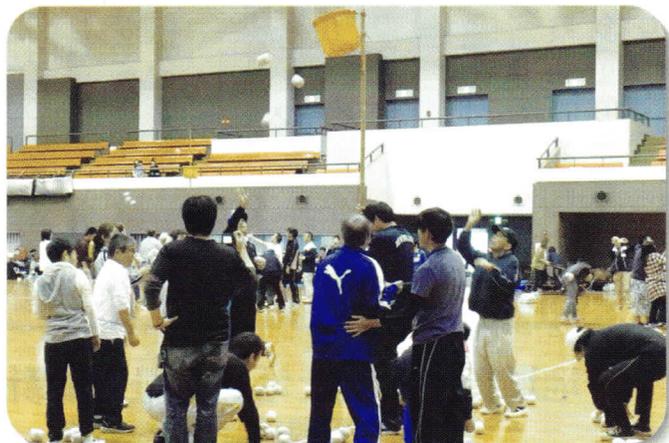
第2回地域福祉講演会(9月8日 うずしお会館)
 =2面に詳細



災害ボランティアセンター体制整備支援事業東部ブロック合同訓練
 =7月30日 障がい者支援施設「すみれ園」(阿波市)



赤い羽根共同募金・街頭募金活動
 =10月1日 キョーエイ鳴門駅前店



第49回鳴門市障がい者スポーツレクリエーション大会
 =10月23日 アミノバリューホール

主 な 内 容

- ▶ 第1回・第2回地域福祉講演会、地域福祉活動計画について ②
- ▶ 東部ブロック合同訓練参加報告、第14回子どものまちフェスティバル参加
 婚活イベント開催、市老連ウォークラリー開催 ③
- ▶ 「世界アルツハイマーデー」啓発活動報告 ④
- ▶ 地区社会福祉協議会活動紹介
 斎田地区社会福祉協議会、桑島地区社会福祉協議会 ⑤
- ▶ 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金について ⑥
- ▶ 介護事業、ボランティアセンター紹介 ⑦
- ▶ 社会福祉協議会からのお知らせ ⑧

第1回・第2回鳴門市地域福祉講演会を開催

平成28年8月6日(土)・9月11日(日)の両日に公益財団法人さわやか福祉財団戦略アドバイザー「土屋幸己」氏を講師にお招きし、第1回・第2回鳴門市地域福祉講演会を開催しました。

第1回講演会では、日本の置かれた現状と将来の姿についての説明があり、2017年と2055年の比較で人口は1億2千7百万人から8千9百万人に減少するにもかかわらず、高齢者人口は3千3百万人から3千6百万人に増加し、高齢化率が40%を超える社会(1人強の勤労者が1人の高齢者を支える肩車社会)となること、医療・介護・年金制度の維持が困難となることなどが示されました。

さらに地域には制度の谷間の二ーズがあるということ、また一方では様々な社会資源が存在していること、二ーズを継続的に支援していくためには、住民と行政の協働で地域の



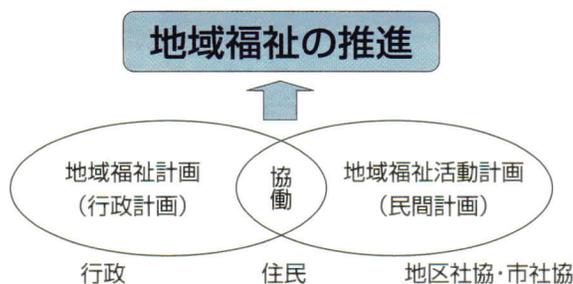
社会資源を活用した『互助』のしくみづくりが必要であること、また、鳴門市と市社協が策定する地域福祉計画・地域福祉活動計画についても、「計画は地域の方々の意見を十分に反映させながら策定するものであり、今後の地域福祉を総合的に推進する上で大きな柱になるものだ」とのお話しをいただきました。

第2回講演会では、生活のしづらさを抱えている人が増加している現状で、地域にある3つの壁(意識の壁・情報の壁・制度サービスの壁)を越えた「地域包括ケアシステム」(住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・生活支援等が連携して支えるしくみ)が必要となっており、地域福祉計画・地域福祉活動計画それぞれについて、なぜ必要なのか、なぜ住民参加なのか、住民の役割はどのようなものなのか、2つの計画の関係性や一体的策定の意義、『自助』から地域間での『互助』を目指すために、地域の連帯で新たな支え合いを創出することが必要だとの説明や提言をいただきました。

両講演会とも最後に質疑応答があり、個人情報保護と地域福祉の関係、高齢者対策問題だけでなく地域のあらゆる課題への対応の必要性など、活発な意見交換があり、盛会のうちに終了となりました。

両計画は平成29年度末の策定を目指していますが、平成28年9月29日(木)には第1回鳴門市地域福祉計画審議会が開催され、社協の計画である地域福祉活動計画についても一体的にご審議いただくことを承認いただきました。

地域福祉計画と地域福祉活動計画の関係



今後、徳島大学大学院医歯薬学研究所「柳沢志津子」先生のご指導をいただきましたながら、市と連携し、市の公募で参加いただいた『市民会議』の皆さんや、市と社協の職員からなる『プロジェクトチーム』メンバーとの研修・協議を繰り返し実施するとともに、『地域座談会』の開催による地域資源や特性、住民二ーズの把握などに努め、住民自身の手による住民のための計画づくりに努めていきますので皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

・地域福祉計画

行政が新しい社会福祉の理念を達成するために策定する福祉計画

- 1 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
- 2 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
- 3 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項

・地域福祉活動計画

社協が呼びかけ、住民や社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業を営む者が策定する民間の活動・行動計画

③ 社協なると

職員参集訓練の実施および
災害VC体制整備支援事業
東部ブロック合同訓練に参加

平成28年7月30日(土)に災害時における市社協職員参集訓練を実施しました。午前7時に緊急連絡網にて伝達訓練を開始し、午前8時に職員全員が参集しました。

その後、障がい者支援施設すみれ園(阿波市)にて開催された災害ボランティアセンター体制整備支援事業東部ブロック合同訓練に職員6名が参加しました。



後、災害ボランティアセンター体験・段ボールベ

合同訓練は今回で5回目となり、東部ブロック社協職員・県社協職員・施設職員・阿波市職員など約170名の参加がありました。特定非営利活動法人さくらネット代表理事の石井布紀子先生による「福祉避難所とは」というテーマでの講演の

ツドの寝心地体験などのブース及び福祉避難所要配慮者の受付・スクリーニング訓練・振り分け訓練を実施しました。
訓練を通じて、災害時に要配慮者の支援をより良い形で支援する方法を検証でき、スキルアップを図ることができました。

第14回子どものまちフェスティバルに参加

平成28年10月16日(日)にウチノ海総合公園において、子ども連れのご家族をはじめ、多数の方の来場のもと、第14回子どものまちフェスティバルが開催されました。多数の体験コーナーが展開している中、鳴門市民生委員児童委員協議会の児童福祉部会も、体験コーナー「ジャンボシャボン玉をとばそう」・「大縄跳び」・「ビュンビュンゴマ作り」で参加しました。

早くから子ども達が集まりだし、開始時間には各団体のコーナーはたくさんの人だかりになっていました。毎回参加させていただいておりますが、子ども達と直接触れ合うことができ、これからの活動の励みになりました。



婚活イベントが開催されました。

平成28年10月23日(日)にポートレース鳴門特別観覧施設「ROKU」において、良縁サポートセンターハッピーなると主催による婚活イベント『笑顔と魅力渦まく出会い』が開催されました。結婚を希望する45歳ぐらいまでの独身男女計21名が参加し、自己PRタイムやゲーム、フリートークタイムなどで交流を深めました。
今回のイベントでは2組のカップルが成立しました。



第10回介護予防セーフティウォークラリー開催

平成28年10月31日(月)、第10回介護予防セーフティウォークラリーが開催され、130名が参加しました。午前9時35分に出発し、午前11時には全員が無事に5kmを完走しました。



【出発式】



【チャレンジコーナーで】

9月21日、「世界アルツハイマーデー」 に合わせ啓発活動を実施

“認知症地域支援推進員の会”

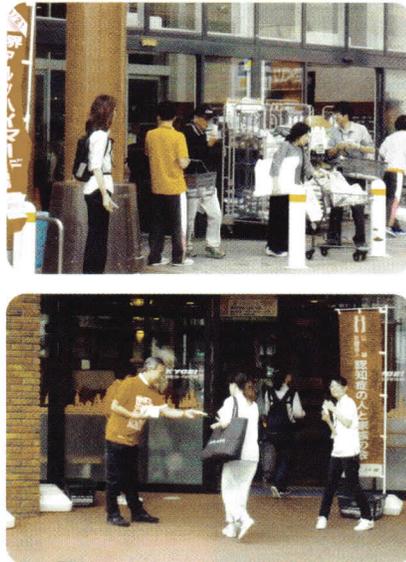
医学の進歩により、戦前は50歳にも届かなかつた日本人の平均寿命はいまや、80歳を超えるまでになりました。そして、その先に新たに待っていたのが“認知症”でした。寿命が延びれば当然発症のリスクも高まるわけです。これは、日本だけにとどまらず世界が抱えている課題でもあります。

世界保健機関（WHO）の推計によれば、世界の患者数は4750万人（2015年）、今後2030年までに7650万人、2050年までには、1億4千万人を超えるということなのです。『恍惚の人』がベストセラーになったのが今から四十年前前、まだ“認知症”というものが一般的でなく、ほとんどの人にとって他人事だったのがいまや社会問題にまでなつてきております。私たちは、認知症がごく当たり前の社会・時代に生きていると言えます。

このような中、2013年英国で「G8認知症サミット」が開催されました。そして、翌年11月に開催された「認知症サミット日本後継イベント」を受けて『認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～』（新オレンジプラン）が取りまとめられました。このような政策のもと、鳴門市においても認知症地域支援推進員の会が2014年に発足し（最初は事務局を鳴門市長寿介護課、後に社協基幹型地域包括支援センター）、定期的な連絡会を開催して、鳴門市での認知症を取り巻く情報交換や様々な啓発活

動を行っております。今年は昨年続き、市内量販店での街頭啓発及びサポーター養成講座を実施しました。また、新たな啓発活動の一環として、認知症理解に関する川柳を募集しました。以下当日の取り組み活動をご紹介します。

■市内量販店での街頭啓発



【街頭啓発のようす＝平成28年9月21日】

9月21日（水）、午前10時より、キヨーエイ鳴門駅前店及びマルナカパワーシティ鳴門店において、認知症の人と家族の会、市内5ヶ所の地域包括支援センター、認知症対応型グループホーム、病院関係者などキャラバンメイトがポケットティッシュを配り認知症に対する啓発を行いました。いまだに、“認知症は病気そのものである”との誤解は根強いものと思われます。認知症とは、記憶障害や認知機能の低下などの様々な症状を合わせた状態を言います。このようなことから、日常生活における支障のかたや、その人らしく暮らすことができるかどうかは、家族の支援や地域社会の関わり方によって大きく変わってきます。今後も様々な活動を通じて、啓発を行っていく予定です。

■認知症サポーター養成講座を開催

街頭活動と並行して、キヨーエイ鳴門駅前店4階のB教室で「認知症サポーター養成講座」を開催しました。このサポーター制度は、日本独自のものです。2015年を目前にサポーターを養成する「認知症を理解する100万人キャラバン」として、世界に先駆けて取り入れられ、現在では800万人を超える人が受講しています。鳴門市内ではこれまでに、5187の方がサポーターとして受講されています。当日は「緑樹会」のキャラバンメイトが講義を行いました。

■認知症啓発に関する川柳を展示

鳴門市内外より、165句の応募がありました。一人一人が認知症と向き合うためには、尊厳の気持ちや愛情や気遣い、思いやりといったそのままを受け入れる情緒的な面が必要となります。応募いただいた作品にはどれもそういった気持ちが込められています。



【サポーター養成講座】



【川柳の展示】

地区社協活動紹介 齋田地区社会福祉協議会

齋田地区社会福祉協議会会長 村澤 久豊



【正興寺保育園児の遊戯】

齋田地区は、鳴門高校、撫養小学校、撫養幼稚園、中央保育所、正興寺保育所があり学園地区になっています。子育て支援、子供の健全育成、交通安全等、社会福祉活動に大きな役割が課せられています。

当地区は自治振興会、自主防災会と一緒に活動をしています。南海地震を想定して、撫養幼稚園、中央保育所、鳴門高等学校の合同避難訓練が9月28日に実施され役員、婦人会が参加して保育所の子供さんを、鳴門高等学校の体育館まで避難させました。

汽車公園とふれあい公園がありますので、除草をしたり四季折々の草花を植え、その管理も続け美観を保つよう心がけています。

年間行事計画の中の大きな行事の敬老会が、齋田集会所で10月21日に実施されました。この敬老会は今年で第38回目となります。当日は10名の90歳の方に鳩寿状を、80歳の方24名の方に傘寿状を差し上げ、来賓のお祝辞を頂き、撫養小学校の2年生の秋山有子（ともこ）さん、3年生の石川凛夏（りんか）さん、6年生の山内悠有（ゆう）さんが敬老作文を書いて朗読してくれました。その後、正興寺保育園児の合唱、お遊戯があり出席の被表彰者とおめでとうの交歓がありました。次いで撫養小学校の5年生と合唱部50名の合唱があり、お祝いをしてくれました。



【撫養小児童による「第九」合唱】

お祝いの昼食を終わりアトラクションがあり19組の方々の歌、踊りがあり盛り上げて頂きました。地域全体の方の参加で住みよい齋田になるよう齋田地区社会福祉協議会は心がけています。

地区社協活動紹介 桑島地区社会福祉協議会

桑島地区社会福祉協議会会長 野田 粹之

桑島地区では、自治振興会や自主防災会また人推協等と共同でいろいろな活動をしています。前回は「敬老会」と「花火大会」の報告をしましたが、今回は「共同墓地の清掃」と「グランドゴルフ」について紹介します。

まず、共同墓地の清掃の件ですが、毎月3回、各組持ち回りで花柄の除去やペットボトル・ごみなどの整理をしています。更に、年1回、8月の第一日曜日に桑島一斉に清掃をしています。

そして、共同墓地の正面には軍人墓地があります。明治維新後戦争で亡くなった陸海軍人の遺骨がおさめられ、桑島には42人の英霊が祀られています。以前は、自宅の墓地に行く前に軍人墓地に参拝してから墓地に行っていたようです。



【共同墓地の清掃】



【グランドゴルフ大会】

次に、グランドゴルフですが、老人会が主体になって、北泊地区などの人たちも加わって、毎週月曜日と木曜日に健康増進を目指して楽しんでおります。また、12月には人権グランドゴルフ大会、3月には三世代グランドゴルフ大会を実施し、相手の立場に立って考えることによって、お互いを尊重し、絆を深めることを目的としています。今後は、無理のない魅力ある活動を取り入れることによって、若い人たちが参加しやすくし、高齢化による会員減少に歯止めをかけながら、住みよい地域作りを推進したいと考えています。



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 に皆様のご協力をお願いいたします

共同募金運動は昭和22年に始まって以来、今回で70回目を迎えております。皆様の温かいご支援・ご協力により、今年も10月1日から「じぶんの町を良くするしくみ」をメインテーマに掲げて運動を展開しておりますので、皆様方のなお一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。皆様からお寄せいただいた寄付金は、徳島県共同募金会を通じて、徳島県内の民間福祉施設や社会福祉協議会に配分され、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄り、障がいのある人や子供たちが安心して生活できるように、地域の様々な福祉活動に役立てられます。この趣旨をご理解いただき、地域の皆様の共同募金への温かいご支援とご協力をお願いいたします。

共同募金は計画募金

共同募金は、運動の前に県内の社会福祉施設や社会福祉・ボランティア団体等からの助成要望を取りまとめ、使いみちの計画（配分計画）を立ててから募金を行う「計画募金」です。この配分計画をもとにした募金目標に向けて運動が行われます。

鳴門市支部の募金運動計画

- ◇ 地域募金 …… ボランティアの皆さんが、町内会を通じて各世帯に呼びかけます。
- ◇ 街頭募金 …… 街角や人の集まる場所（店舗前など）で募金を呼びかけます。
- ◇ バッジ募金 …… 関係団体や官公庁、福祉施設等の職員に呼びかけます。
- ◇ 法人募金 …… ボランティアの皆さんが、企業を訪問して寄付を依頼します。
- ◇ 歳末たすけあい募金 …… 関係団体を中心に呼びかけます。

※歳末たすけあい運動は共同募金運動の一環で、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を展開するものです。

街頭募金のご報告

10/1～10/3にキョーエイ鳴門駅前店様、マルナカパワーシティ鳴門店様、ハローズ鳴門店様のご協力により、店頭で街頭募金運動を実施させていただきました。3日間の合計は、92,999円でした。ご協力いただいた多くの皆様方にお礼申し上げます。期間中、支部長の泉鳴門市長をはじめ、鳴門市議会議員の皆様、第一中学校様、第二中学校様、鳴門中学校様、鳴門高等学校様、鳴門渦潮高等学校様など、多くのボランティアの方々にご協力いただきました。

キョーエイ鳴門駅前店様

25,324円

(2日、3日に実施)

マルナカパワーシティ鳴門店様

51,734円

(1日、2日、3日に実施)

ハローズ鳴門店様

15,941円

(1日に実施)

善意銀行にご協力をお願いします

皆さまの温かい善意が、福祉のまちづくりに活かされています。

善意銀行とは、市民の皆様の“善意の金銭や物品”を預託（寄付）していただき、それらを必要とする方や施設・団体などに払出し（活用）させていただき、みんなが幸せになれる福祉のまちづくりを推進するための銀行です。地域の団体のおまつりやバザーでの収益金の一部、冠婚葬祭でのお祝いやお悔やみの一部と様々な形でご寄付いただいております。事前にボランティアセンターにご相談ください。

今後も皆さまの善意を地域福祉の推進に活かしていくため、ご協力をお願いいたします。

在宅介護サービスを利用してみませんか？

ホームヘルパーのことなら何でもご相談ください

高齢者や障がいのある方が、住み慣れた家で安心して暮らせるようお手伝いさせていただきます
職員は、災害時に市民のお役に立てるよう研修に参加しています

障がい福祉サービス

障がい児(者)の方へ、居宅介護・同行援護・家事援助・重度訪問介護を行います。

居宅介護支援サービス

ケアマネージャーが、介護サービスの相談に応じ、最適なケアプランの作成を行います。

サービス内容

訪問介護サービス

身体介護（入浴介助、食事介助等）・生活援助（買い物、洗濯、調理、掃除等）を行います。

産前・産後ヘルパー派遣

母子の心身の安定と育児不安を解消し、家事や育児負担の軽減を図るためヘルパーを派遣します。

その他のサービス

ペットの散歩や草抜き等の保険外サービスも行っておりますのでご相談ください。

登録ヘルパー募集！

ホームヘルパーを随時募集しています。子育て中の方、子育てがひと段落した方で、介護福祉士・ホームヘルパー（2級以上）の資格をお持ちの方。あなたの空いている時間を有効に使いませんか？

- 年齢…65歳まで
- 勤務先…鳴門市内
- 賃金…当会規定による
- 勤務時間…要相談（土・日・祝のみの勤務でも可）

鳴門市社会福祉協議会 訪問介護サービス事業所・障がい福祉サービス事業所・居宅介護支援事業所
〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字湊岩浜8-2（旧教育委員会棟1F）
TEL：686-4073（直通） FAX：686-4059 ※お問い合わせは、平日の午前8時30分～午後5時まで。

ボランティアセンターって・・・ 何をしているところなの??

鳴門市ボランティアセンターは、ボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、その育成援助と必要な連絡調整を行うことを目的として設置・運営されています。市民の相談窓口として、みなさんの活動を応援します。

事業内容

- ★ ボランティアの登録及び活動の斡旋並びに相談・援助
- ★ ボランティア活動のための養成・研修（点字・車いす講習会など）
- ★ ボランティア活動に関する広報（情報提供）
- ★ ボランティア活動に関する調査研究及び連絡調整
- ★ 備品の貸出し（ビデオ・DVD・書籍・車いす等）
- ★ 預託金品の受入れ及び払出し
- ★ 鳴門市ボランティア連絡協議会事務局（登録団体に対する相互の連絡調整）

- 場 所 〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字湊岩浜8-2（旧教育委員会棟1F）
TEL：685-7170 FAX：686-4059
- 開館時間 月～金 午前8時30分～午後5時15分
- 休 館 日 土・日・祝・年末年始（12/29～1/3）

鳴門市心配ごと相談所

- 日 時:毎週金曜日 10時~15時
- 場 所:鳴門市社会福祉協議会 1階 相談室
- 相談員:福居 一郎、松本 久和子、永井 多美子、吉成 眞佐人、鍋島 明子、淀 吉弘
- 財産・家族・離婚問題など、あらゆる心配ごと・悩みごとの相談に応じています。費用は無料です。お電話でのご相談も受け付けておりますので、ご利用下さい。

★秘密は厳守します！

※お問い合わせは、鳴門市社会福祉協議会 (☎ 685-7170) まで。

無 料 法 律 相 談

- 日 時:毎月第2水曜日 13時~15時
- 場 所:鳴門市社会福祉協議会 1階 相談室
- 弁護士:うずしお法律事務所 瀧 誠司 弁護士
- 対象者:鳴門市心配ごと相談所に来所された方で、法律相談を希望された方。(予約制)

★秘密は厳守します！

※お問い合わせは、鳴門市社会福祉協議会 (☎ 685-7170) まで。

鳴門市老人クラブ連合会からのお知らせ

鳴門市老人クラブ連合会の11月からの行事は次のとおりです。

- 10月31日(月) 市老連ウォークラリー
- 11月 9日(水) 市社協グラウンド・ゴルフ大会
- 11月22日(火) 友愛訪問員研修会
- 12月12日(月) 市老連若手委員研修会
- 2月14日(火) 介護予防普及研修会

お問い合わせは事務局 (☎ 685-7170) まで。

善意銀行にご協力をお願いします

皆様の温かい善意が、福祉のまちづくりに活かされています。平成28年7月1日から平成28年10月31日までに、次の方よりご寄付いただきました。

- 一般預託
松井 宣子 様 (東かがわ市)
- 香典返し
木内 智 様 (大津町)
岸野 佑紀 様 (大津町)

温かい善意に厚く感謝申し上げます。ご寄付は有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

良縁サポートセンター ハッピーなると

良縁を求める方々を対象に結婚相談を実施しています。また、年1~2回婚活イベントも実施しています。会員登録・相談員の募集も随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。相談・登録料は無料です。★秘密は厳守します！

- 日 時:毎月第4火曜日 13時30分~15時30分
- 場 所:鳴門市社会福祉協議会 会議室

※お問い合わせは、鳴門市社会福祉協議会 (☎ 685-7170) まで。

「もの忘れ」に関する無料相談窓口

- 日 時:毎月第4水曜日 14時~16時 (祝日の場合は変更あり)
- 場 所:鳴門市役所本庁1階 市民相談室
- 相談員:認知症サポート医(3・6・9・12月)、認知症の人と家族の会相談員(上記以外の月)
- ご自身やご家族のもの忘れが気になる方、認知症の方などを介護されている方。(基本予約制)

★秘密は厳守します！

※お問い合わせは、鳴門市基幹型地域包括支援センター (☎ 615-1417) まで。



ご家族を介護されている方、
介護をして不安や悩みがある方へ
私たちがご相談にのります。

相談料 無料

「鳴門市介護者家族の会」
鳴門市民生委員児童委員協議会 有志

こんなこと言っても
仕方がないことと思っていること、
一緒にいるとイライラすると思ってしまうこと、
はずかしいことと思ってしまうこと...などなど
ひとりでは抱え込んでいませんか? そんな時、介護の経験がある人などに聞いてもらうと、気持ちの整理がつかませんか?
どんな小さなことでも、お話を聴きます。
お気軽にお越しください。
※こちらからの訪問も可能です。
※時間などはご相談に応じます。

日 時 毎月第2・4火曜日
午前10時~午後3時
場 所 鳴門市ホランディアセンター (鳴門市老人福祉センター1階)
お問い合わせ先 鳴門市社会福祉協議会 ☎615-1417
(鳴門市基幹型地域包括支援センター)
鳴門市長寿介護課 ☎684-1175